

令和 7 年度 史跡橋樹官衙遺跡群保存活用事業

影向寺遺跡から<sup>どうかんしちゅう</sup>幢竿支柱跡が初めて発見されました!!  
国史跡指定 10 周年記念シンポジウムで報告します

令和 7 年 1 月 1 4 日～1 2 月 5 日、高津区から宮前区に広がる橋樹官衙遺跡群内に所在する影向寺境内において、川崎市教育委員会が実施した影向寺遺跡第 4 4 次調査により、7 世紀末から 8 世紀初め頃のもの<sup>ようこうじ</sup>と推定される幢竿支柱<sup>どうかんしちゅう</sup>の跡が発見されました。

この幢竿支柱跡の発見は、橋樹官衙遺跡群及び本市で初めて、神奈川県内でも茅ヶ崎市下寺尾官衙遺跡群に次いで 2 例目となります。

川崎市教育委員会では、史跡指定 10 周年記念事業として、1 月 3 1 日（土）にシンポジウムを開催しますが、その中で、今回発見された幢竿支柱跡の報告も行います。

幢竿支柱とは、寺院で行われる儀式などの際に立てられる「幢（どう）」という旗や装飾を掲げるための竿（幢竿）を支えるための柱です。この発見により、古代影向寺では、こうした幢を掲げる儀式が行われていた可能性が高くなりました。今回の調査成果とこれまでの調査・研究により、古代影向寺が橋樹の地を含めた周辺地域において中心的な寺院であったことが明らかになってきました。

【橋樹官衙遺跡群・下寺尾官衙遺跡群同時国史跡指定 10 周年記念シンポジウム】

テーマ：古代東国における仏教の受容と寺院

- 1 日 時 令和 8 年 1 月 3 1 日（土） 10：00～16：50（受付開始 9：30）
- 2 会 場 川崎市役所本庁舎 2 階ホール（川崎市川崎区宮本町 1 番地）
- 3 内 容 古代東国<sup>とうこく</sup>の地方寺院の成立と展開や仏教の広がりについて、研究の第一人者による記念講演及び関東周辺の古代寺院の事例報告を行います。また、発表者によるパネルディスカッションも実施し、影向寺を含めた古代地方寺院の実像に迫ります。
- 4 定員等 200 名
- 5 申込み 事前申込不要（先着順）、参加無料

※参加者多数の場合は、受付順に御案内しますのでお待ちいただく場合があります。



現在の影向寺薬師堂



影向寺遺跡第 44 次調査で発見された幢竿支柱跡

問合せ先  
川崎市教育委員会事務局生涯学習部文化財課 竹下  
電話 044-200-3315